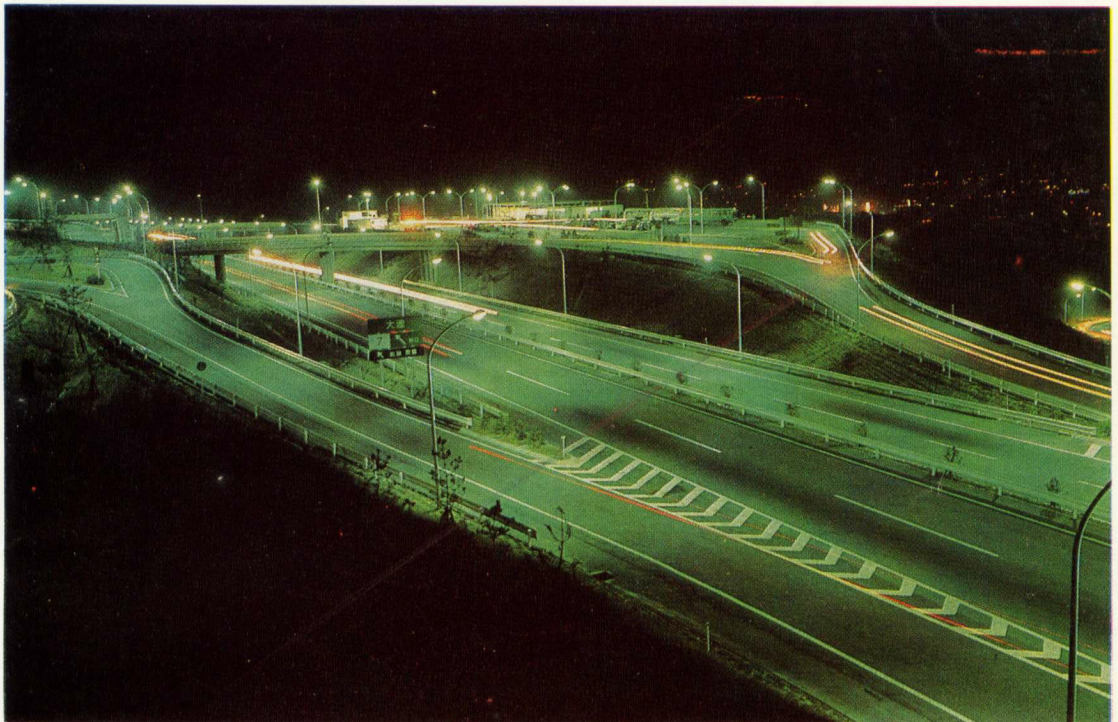


夜空に映える大津インターチェンジ



大津インターチェンジ全景



大津インターチェンジは名神高速道路でサービスエリアを併置したのものとしては唯一のものである。高速道路から一般道路への出入口で、事故が起りやすい場所である点を考慮し、特に明るくし、最高照度58lx(平均照度20.5lx) ドライバーに警告を与えるとともに交通の安全、かつ円滑な運行のできるような照明設備が施されている。また、灯具は高速道路におけるドライバーの疲労が一般道路の運転にくらべて非常に激しいため、グレアの少ないカットオフ形本格派ハイウェイ灯具「アイメトロス」が採用され、運転者の視力改善

に役立つように灯間隔を選び、インターチェンジの前後150m以上にわたって本線も連絡線も照明し、徐々に明るく、徐々に暗くなるように工夫がほどこされている。本インターチェンジの設備概要、使用器具の仕様は次表の通りである。

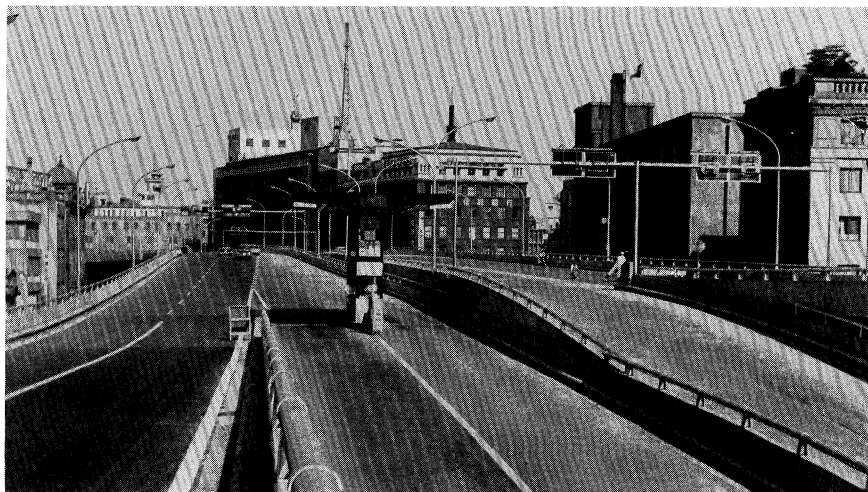
設備概要

灯具		水銀ランプ		安定器		使用場所
形式	数量	容量	数量	形式	数量	
H727	154	HF400-SW	154	HA-RC WH-RC		主に本線 駐付 車場近
H731	3	HF700-SW	3	H7-RC		駐車場
H603 H616	2 6	HF250-SW	8	H2.5-RC		橋梁 駐車 場休

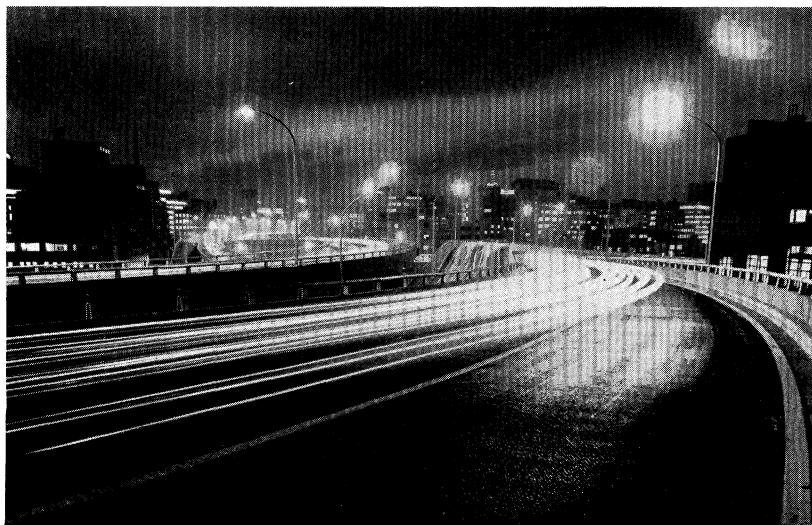
使用器具の仕様

光源	HF400-SW
器具効率	55%以上
最大光度	鉛直角55°以上で4500cd以上
配光制限	鉛直角85°以上は1000cd以下 鉛直角90°以上は400cd以下

利用される 首都高速道路



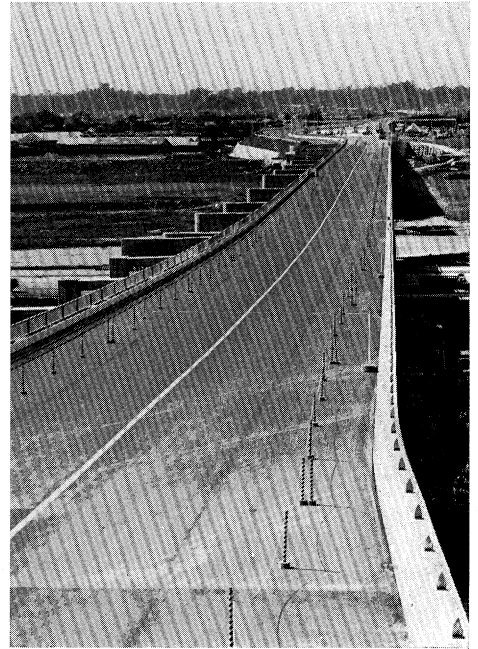
オリンピック東京大会を目標に、その完成が急がれていた首都高速道路1, 4号線は、見事完成し、今回のオリンピック東京大会にあっては、じみではあったが十分な働きをなし、内外の関心を集めた。写真一上は、呉服橋付近の首都高速道路4号線で、写真中は、今日ではすでに東京の風景の中にとけ込んだ感じの江戸橋インターチェンジである。なお、写真一下は、同じ江戸橋インターチェンジの夜景である。



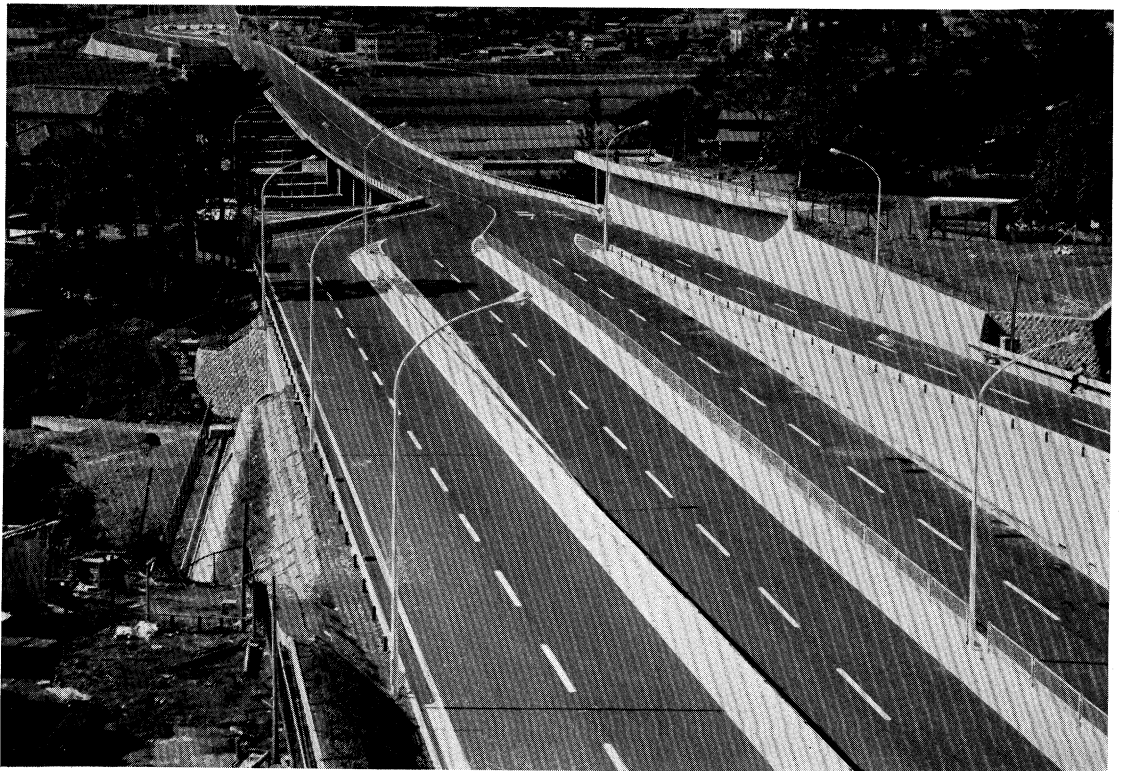
第三京浜道路・多摩川橋一部完成

現在、東京～横浜間の自動車交通は、第1,2京浜国道、中原街道、および、産業道路によって行なわれているが、これらの一日の可能交通量は84 000台で、昭和39年4月の1日160 000台をみるまでもなく、マヒ状態になっている。ますます増加する交通量をさばくため、日本道路公団の手により、昭和50年度には1日350 000台と予想される交通量を抜本的に解決するため、着工されたのが、第三京浜道路であり、10月6日、その一部が供用開始された。今回供用開始された区間は、東京区間（東京都世田谷区玉川野毛町～神奈川県川崎市末長）約2.4kmで、その片側3車線を往復2車線として利用するものである。

なお、本線は自動車専用道路で、多摩川橋は全長382.90mである。



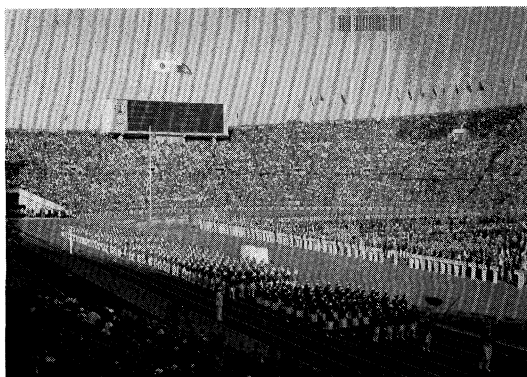
写真提供・日本道路公団





第 18 回 東 京 オ リ ン ピ ッ ク 大 会 終 了

世界の注目を集め、10月10日から10月24日まで東京を中心に開催された、オリンピックは、数々のエピソードを残し、無事終了した。



国立競技場を始めとする各種施設、首都高速道路を始めとする道路群、また、それをささえた人々、大会を無事終了させるためには多くの人々の努力と、創造へのあくなき追求の態度があった。100万人以上と言われた、マラソン競技の群衆整理を始めとする、一連の交通規制なども特筆に値するものであろう。

写真提供・共同フォトサービス

建設／創造／技術

土木学会編

彰国社刊

日本の土木界で、特に目ざましい発展をとげたこの10年間に於ける歩みを数千枚集まった写真をもとに編集したものです。輝かしい土木技術発展の歴史として、また技術向上の生きた資料として土木関係者はもちろん、日本の技術創造に参加するすべての人におくる！

A4判二一二頁 特装函入 定価三、八〇〇円 (〒三〇〇)

目次

日本における建設の問題点／高橋裕

産業基盤のための建設／高橋裕

災害に対応する建設／高橋裕

開発と新しい生活の創造／川喜田二郎

国造りにおける産業偏重より生活創造への移行／鈴木忠義

わが国における交通関係施設の現況および課題／鈴木忠義

土木技術——昨日と今日／久野悟郎

索引・工事リスト

ダム／発電施設／土地造成・団地農業

災害／河川・海岸／砂防

都市計画・オリンピック施設／上下水道

国鉄・鉄道橋・トンネル／私鉄／地下鉄／特殊鉄道／道路・道路橋
港湾／空港

研究・試験・実験／基礎工事・土工・建設機械／材料／測量・その他

建設／創造／技術

編集

土木学会

委員長

片山祐一

副委員長

鈴木忠義

委員

浅井新一郎

石井文夫

石綿知治

伊藤謙一

枝村俊郎

及川 陽

大久保嘉市

大塚睦三

岡内 功

角谷省三

隈部毅一郎

今野 博

佐藤次郎

佐藤能章

鈴木信太郎

鈴木富千代

竹原清隆

永岡乙哉

中川義徳

中川 稔

西片 守

野津幹男

橋本定雄

塙 克郎

林 鋼太郎

林 茂樹

甕 哲司

湯田坂益利

渡辺時男

渡辺与四郎

彰国社 

本社・販売業務／東京都千代田区平河町2-11 (電)261-2851 振替東京173401

営業・編集業務／東京都新宿区坂町25

(電)353-4631・4632・4633